



第1回 メカものミュージアム編



初めてヒューストンに来られた方、特に単身で来られた方の中には、週末の時間を余して困っているという方もいらっしゃるかと思います。そこでガルフストリームでは新企画として単身者の週末の過ごし方に注目、様々なパターンを紹介します。これからの連載記事の中から、読者の皆さんに合った余暇の過ごし方を見つけていただくと幸いです。

さて、記念すべき連載第1回ではミュージアム巡りの魅力をお伝えします。と言ってもヒューストンには大きいものから小さいものまでたくさんの美術館、博物館があり、テーマを決めないと訪問先を絞り込むだけでも大変です。そこで今回は「メカもの」という切り口で2つの博物館を紹介します。

LONE STAR FLIGHT MUSEUM

メカにもいろいろありますが、飛行機が好きな人におすすめなのがヒューストン南東にあるLone Star Flight Museumです。I-45をガルベトン方向に進んでBeltway8を過ぎた辺りにEllington Airportという小さな空港がありますが、その隣に建つのがこの博物館で、車で訪れるとまずは巨大な飛行機の屋外展示が出迎えてくれます。

さらに中に入ると2つの巨大な展示室に大小様々な飛行機の実物が展示されています。種類を見ると第二次世界大戦時の軍用機が多いですが、それ以外にも軽飛行機や旅客機、ヘリコプターなども展示されています。これらの機体の中には現役で飛行可能なものもあり、かなりお高いですが有料での飛行体験も受け付けています。

この他、フライトシミュレーターや飛行の原理を紹介する教育コーナーもあり、家族連れにも楽しんでもらえるようになっています。



◀博物館の目印になる飛行機の屋外展示



博物館外観▶



◀館内には昔の飛行機がズラリ

GALVESTON NAVAL MUSEUM

飛行機もいいが自分は船の方が好きだ、という方にはGalveston Naval Museumをおすすめします。名前から分かる通り、メキシコ湾に面したガルベトンに位置しており、ヒューストン市内からだと車で1時間弱ほどかかります。こちらも目玉は実物展示。第二次世界大戦時に活躍した潜水艦と護衛駆逐艦が1隻ずつ地上に引き上げられており、中に入ることが出来ます。潜水艦の内部で感じるの何と言ってもその狭さ。数週間もこんな密閉された空間に閉じ込められるのかと考えるとぞっとします。4段ベッドで休んだ兵士たちはどんな気持ちだったのだろうか、そんなことも考えさせられます。

一方、この博物館は海に面しており、隣にはSeawolf Parkという臨海公園が広がっています。こちらは一転して開放的な雰囲気、魚釣りを楽しんでいる人もたくさんいます。



▲潜水艦Cavalla号



▲護衛駆逐艦Stewart号



▲潜水艦内部も見学可能

なお軍艦の実物展示ということでは、戦艦「テキサス」もヒューストン東部のSan. Jacinto Battleground State Historic Siteの近くで見学可能なのですが、現在は修繕中で見ることができません。再開が待ち遠しいですね。

その他の「メカもの」博物館たち



上で紹介した以外にもヒューストンにはまだまだメカものの博物館がたくさんあります。商工会員の中には石油ガス産業と関わっている人もたくさんいると思いますが、そんな人にとって必見なのがガルベトンにあるOcean Star Offshore Drilling Rig & Museumで、実際に海上油田を掘削するのに使用されていたリグと呼ばれる構造物の中身が博物館になっています。

あるいは鉄道好きにはGalveston Railroad Museumなどもあり、蒸気機関車や昔の客車などが展示されています。

そしてもちろん忘れてはならないのがSpace Center Houstonです。ここにはスペースシャトルの実物展示があるほか、トラムツアーで隣接するNASAのJohnson宇宙センターの見学ができます。ツアーの最後に待ち構えるサターンV型ロケットの実物展示は圧巻です。さらに昨年からはSpace X社のファルコン9ロケットの1段目の実物展示まで加わりました。お子様向けの体験遊具もあり、こちらも単身・家族連れ関係なく楽しめる場所になっています。

(文責：編集部 鶴飼信)